2008年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名［　熊本市立春日小学校　］　担当教諭［　西尾環／柏野勝広　］			
児童生徒の学年・クラス・参加人数：［　６年　組　３１名］［　年　組　名］［　年　組　名］			
実施期間：　２００８年　１０月　～　２００９　年　３月			
交流：有（国名［　インドネシア］学校名［ウブド第２小学校］学年［　６　］担当教諭［　　］）			
実施教科・時数 ・関連させたものをすべて ・総合学習では（英語活動環境）など具体的に	教科	単元名	時数
	図工	みんなで描こうアートマイル	１０
	総合（課題追究）	熊本の名所や春日遺産を伝えよう	９
	総合（英語活動）	自己紹介カードを作ろう	１

■作品について教えてください。

題（テーマ）	（お互いの地域の歴史や自然の様子を伝えよう） 「熊本とバリの遺産　~黒と赤　静と動~」
絵に込めたメッセージ	熊本の名所と言われる熊本城を中心に、熊本遺産・春日遺産として残したいものを絵に表した。自分たちも全員絵の中に描き込むことで、遺産の中に存在感を表したかった。バリから送り返された絵を見て，さらに自分たちの絵に足らない自然や生き物をさらに書き加え，完成した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	５	昨年の６年生とウブド第１小の作品を見る	とても絵が上手だなあ。自分たちもやってみたい。できるかな。	総合１
情報収集	１０	インドネシアやバリ島について知る	自然がきれいなところだ。食べ物がおいしそう。学校の様子が違う。観光地で有名。行ったことがある人がいる。交流もしてみたい。	総合２
テーマ検討	１１	熊本城見学や課題追究学習から自分たちの伝えるべきものを決める。	熊本城はやはり描こう。城主だった加藤清正、樹齢８００年の楠、長塀などを描きたい。春日と熊本にゆかりのあるおてもやんも描こう。春日遺産として自分たちが決めたも神社や山も描いていこう。	図工１ 総合２
制作（交流）	１２ １	下絵を集める 下絵グループが構図を決めて描く 色を塗る	城を最も大きく。自分たちも城に行った時のことを思い出し、絵に入れよう。色を塗る所をみんなで分担しよう。 交流の為に英語をちょっと入れて自己紹介カードを描こう。	図工８ 総合２

鑑賞 （交流）	1 3	春日サイドの絵を見る テレビ会議で完成した作品を見る 送って来た完成品を見てさらに書き加え振り返る。	思ったよりよくできたぞ。ウブドに送ってできあがるのが楽しみ。 あ，完成している。本当にウブドとつながっているんだ。うわあ、ウブドの絵はすごい、ただバランスがよくない。自分たちの絵にまた書き加えよう。いい感じになったぞ。これで本当の完成。うれしいな。	図工１ 総合３

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に１～５まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）

（５：とても身についた　４：身についた　３：どちらともいえない　２：あまり身につかなかった　１：まったく関連がなかった）

順位	つけたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
9	コミュニケーション・スキル	3	英語カードを描く際、my name is～ とI　like～を学んだが実際の場面で活用できなかった日本語で自分たちの絵の説明をしたり対話をしたりしただけであった。むしろ相手の子どもが日本語で説明したことに驚き、自分たちが相手のことを考えていなかったことに気づいた。
8	情報活用能力（収集・発信）	4	一斉に調べる時間は取らず、こちらから情報を提供し、興味ある子どもたちが自ら調べていたので。
7	人間関係をつくる（交流相手・学級内）	4	活動をしながら学級内の人間関係は円滑になったから。相手とはテレビ会議は行ったが，人間関係を作るまでは高まっていないので。
2	協同作業をする力（役割・段取り）	4	子どもたちのやりたいことごとに役割を分担したことで非常にスムーズに制作が行われたので。ただし，作業内容に差があった。
3	異文化の理解	4	情報の共有や相手の絵の中から自分たちと違うことを感じ取った。ただまだ疑問のまま終わったことが多かった。
1	自文化の理解・自分を見つめる	5	総合の課題追究で、この関連以外でも６年生では取り組んでいたことがあるから。絵に描くことでそれがよりいっそう強まった。
4	表現力	5	この制作に入る前に，個人個人できちんとした版画の学習を行っており、それが生かされたこと。共同作品として構図や色を考えたり工夫したりしたこと。
5	学習を追究する意欲	4	総合と関連したことで調べることや描くことに対する意欲は高かった。ただしやはり共同であるが故の個人差があるから。
6	作品を鑑賞する力	5	相手と比較して自分たちの絵のよさや課題に気づいたり、全体的なバランスを考える子どもが多かったから。また新たに書き加えるという新たなことに挑戦したことから。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
共同で制作していく流れがスムーズになった。担任と連携し、総合と図工を関連させていくことが効果的であることが分かった。 絵の具の使い方（色づくり・塗り方）を工夫し、子どもたち自身満足のいく絵になった。比較やバランスを考えた絵の見方、考え方ができるようになった。 海外とのテレビ会議がスムーズにできた。インドネシア現地に日本のことをよく理解してくださるサポーターがいることは必要不可欠であると分かった。そうでなければ今後うまくいかないだろうと。こちらも市の教育センターが協力をしてくださり、機器のサポーターが必要であることを再確認できた。つまり複数サポート体制の確立ができていた。 子どもが世界に対して目を向けるようになった。 新聞に取り上げられたこともあり、社会的にも発信ができ、また校内でも共感を得られた。	共同作品である以上、多の中に個が埋もれてしまうのは仕方がない。その解決は、図画工作という観点から見れば、モザイク的な画にするか、下絵、色塗り，構図などを的確に分担し一人一人が生かされるように確かめながら進めなくてはならない。総合の観点から見れば、さらに役割分担を広げられる。ただしねらいと評価をはっきりしていくことが学習として成立する必要条件。 交流という点ではまだまだ不十分である。テレビ会議がうまく実施でき教師同士は一歩前進だったが，子ども同士の交流までにはいたらなかったという反省がある。絵が出来上がってからさらに交流を深める（別にテレビ会議でなく、手紙やメールのやり取りでもいい。）という方法も視野にいれ、相手国や時期を再検討することも必要かと思った。 図画工作の授業時数から見れば教科単独では難しい。総合の時間も今後は削減されていく。導入される外国語活動の時間を活用できるカリキュラム作成をすべきであろう。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

本部の方々には本当にお世話になりました。
次年度（２００９年度）もやってみたいと職員・子どもに希望があります。ぜひ、参加したいと思います。
できれば英語を上手く活用できるスタイルにしたいと思っています。いい実践例がありましたら教えてください。